

本指導案は、国立教育政策研究所教育課程センターから評価等に関する資料が公表される前の、編集段階の教師用指導書を元に作成しております。
 そのため、本時の目標やめあてについては、供給版の指導書と異なる部分があります。また、評価規準についても編集段階の指導書と同じ記述にしているため、5領域には分けておらず、評価観点のみで、毎時間記入してあります。ご了承ください。

Unit 5 Where is the post office? (pp.46-53)

本単元におけるゴールとなる言語活動

「みんなの大好きが集まったオリジナルタウンを案内し合おう！」

指導計画 1 / 8時間 (pp.46-47)

本時目標：(仮) 場所を尋ねたり、答えたりするやりとりのおおよその内容を理解することができるようにする。

主な表現：Where is ~? Go straight for ~ block(s). Turn right/left at the ~corner.など

準備：指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)、ワークシート (WS)、指導者用絵カード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。	
	【Small Talk】 ・pp.46-47を見て、どのような場面があるか指導者とのやり取りを通して、英語を聞いたり話したりする。	・pp.46-47を見て、どのような場面が示されているか、慣れ親しんできた語彙や表現を用いて確認する。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。	
展開 32分	【めあての確認】		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> (仮) 場所を尋ねたり、答えたりするやりとりのおおよその内容を理解しよう。 </div>		
	・本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	【Let's sing】Excuse me. ・曲を聞き、歌えるところを歌う。	・一度曲を流し、内容について質問する。 ・PDのp.22の「建物」を見せてもよい。 ・曲を再度流し、歌えるところを歌うように声かけする。	指導者用デジタルブック PD
【Word Link】 PDのp.23 道案内 ・「道案内」の単語を復唱する。	・音声を使って、「道案内」の単語を復唱しながら確認できるようにする。	指導者用デジタルブック PD	
【Let's try ①】 ポインティングゲーム ・言われたPDの「道案内」に触れる。 ・指導者の指す絵カードの単語を言う。	・指導者が言ったPDの単語に触るよう伝える。 ・指導者が出した絵カードの単語を言う	指導者用絵カード、	

		よう伝える。	
	【Let's Chant】 ① Go straight. ・チャンツを聞き, 言えるところを言う。	・一度チャンツを流し, 内容について質問する。 ・チャンツを再度流し, 言えるところを言うように励ます。	指導者用デジタルブック
	【Starting Out】 ・No.1～3の音声を聞いて, それぞれの道順をなぞる。 ・答え合わせをする。 ・音声や映像から分かったこと, 気付いたことをWSの1に記入する。 ・分かったこと, 気付いたことを発表する。	・No.1～3の音声を聞いて, それぞれの道順をなぞり, 目的地を探すよう伝える。 ・再度音声を聞いて, 内容を確認する。 ・WSを配り, 音声や映像を再度流し, 分かったことや気付いたことをWSの1に記入することを伝える。必要に応じて, 複数回聞かせる。 ・分かったこと, 気付いたことなどを尋ねる。 ・No.1の音声や映像をもう一度視聴し, 表現を確認できるようにする。 【評価】 ○ <input type="checkbox"/> 主 (場所をたずねたり, 答えたりするやり取りを主体的に聞き取り, 理解しようとしている)	指導者用デジタルブック WS
文字指導 5分	【Sounds and Letters】 ・指導者が続けて言う3文字の名前を書き取る。	・アルファベットチャートで小文字の名前を確認する。 ・最初に「abg」の名前を言い, p.93になぞり書きするよう伝える。 ・指導者が選んだ3文字の名前を言い, 小文字を書き取るよう伝える。 ・児童の実態に応じて, 言うスピードを調整する。 【評価】 * <input type="checkbox"/> 知 (複数の小文字の名前を聞き取り, 書くことができる)	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	・本時をふり返り, 言語に関することで気付いたこと等を発表する。	・本時をふり返り, 児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。 ・挨拶をする。	

Unit 5 Where is the post office? (pp.46-53)

指導計画 2 / 8 時間 (pp.46-48)

本時目標: (仮) 場所を尋ねたり、答えたりするやりとりのおおよその内容を理解することができるようにする。

主な表現: Where is ~? Go straight for ~ block(s). Turn right/left at the ~corner. It's by/in/on/under ~.など

準備: 指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー (PD), ワークシート (WS), 指導者用絵カード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 最近行ったお店の話から、よく行くお店等の話へ </div>	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 	
展開 32分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) 場所を尋ねたり、答えたりするやりとりのおおよその内容を理解しよう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Word Link】 PD の p.23 位置</p> <ul style="list-style-type: none"> 「位置」の単語を復唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声を使って、「位置」の単語を復唱しながら確認できるようにする。 	指導者用デジタルブック PD
	<p>【Let's Chant】</p> <p>②Turn right.</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き、言えるところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一度チャンツを流し、内容について質問する。 チャンツを再度流し、言えるところを言うように励ます。 	指導者用デジタルブック PD 指導者用絵カード WS
	<p>【Let's try ①】 ポインティングゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 言われた PD の「道案内」に触れる。 指導者の指す絵カードの単語を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者が言った PD の単語に触るよう伝える。 指導者が出した絵カードの単語を言うよう伝える。 	
<p>【Let's try②】 宝探しゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> WS の 2 の設問を確認する。 音声を聞いて、4つの単語の頭文字を集めて、宝物を探す。 答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> WS を配り、WS の 2 の設問と内容を確認する。 音声を聞いて、4つの単語の頭文字を集めて、宝物を探すよう伝える。 答え合わせをする。 		

	<p>【Let's Watch and Think】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声や映像を視聴し、答えを空欄に記入する。 ・答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストを見て、何の記号を表しているか予想するよう指示する。 ・音声や映像を視聴し、答えを空欄に記入するよう伝える。 ・答え合わせをする。 <p>【評価】 知○（場所をたずねたり、答えたりするやり取りを主体的に聞き取り、理解しようとしている）</p>	指導者用デジタルブック
	<p>【Let's Listen ①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、探し物に○を付ける。 ・答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声を流して、話されている探しものに○をつけるよう伝える。 ・答え合わせをする。 <p>【評価】 ◎知（どこにあるかをたずねるときにのやり取りで使用される語句や表現が身につけている）</p>	
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、アクセントのある場所をぬりつぶす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・p.94の「アクセント⑤」の音声を聞いて、アクセントのある場所をぬりつぶすよう伝える。 ・必要に応じて、繰り返し聞かせてもよい。 <p>【評価】 *知（単語のアクセントに慣れ親しんでいる）</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、言語に関することで気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。 ・挨拶をする。 	

Unit 5 Where is the post office? (pp.46-53)

指導計画 3 / 8時間 (pp.48 - 49)

本時目標：(仮) 音声を聞き取り，友達と探しものがどこにあるかを尋ね合うことができるようにする。

主な言語材料：Where is ～? It's by/in/on/under ～. など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー (PD)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 教室にある物の話から，それらがどこに置いてあるかの話かへ 	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い，本單元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。 	
展開 32分	<p>【めあての確認】</p> <p>(仮) 音声を聞き取り，友達と探しものがどこにあるかを尋ね合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Word Link】</p> <p>PD の p.22 建物など p.26-27 日常生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 「建物など」の単語を復唱する。 「日常生活」の単語を復唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声を使って，「建物など」「日常生活」の単語を復唱しながら確認できるようにする。 	指導者用デジタルブック PD
	<p>【Let's Chant】</p> <p>① Go straight.</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き，言えるところを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> チャンツを流し，一緒に言う。 	指導者用デジタルブック
	<p>【Let's try③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアになって探しものがどこにあるかを尋ね合う。 ペアを替えて，やり取りを繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> AET, または児童とモデル会話をを行う。 【Let's Listen ①】の絵を使って，ペアで尋ね合うよう伝える。 <p>【評価】</p> <p>◎ 知 (どこにあるかをたずねるときのやり取りで使用される語句や表現が身についている)</p> <p>○ 思 (どこにあるかをたずねるやり取りについて，学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えた</p>	

		りして、やり取りをしている)	
	<p>【Let's Listen ②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、それに合う質問を選び、番号に○を付ける。 ・答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDのp.23「道案内」を復唱させ、道案内の表現を確認する。 ・社会科で学習した紙面の地図記号を確認する。 ・音声を聞き、グリーン先生がたずねた内容を3つの選択肢から選ぶよう伝える。 ・答え合わせをする。 <p>【評価】◎知（どこにあるかをたずねるときのやり取りで使用される語句や表現が身につけている）</p>	指導者用デジタルブック
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が続けて言う3文字の名前を書き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで小文字の名前を確認する。 ・指導者が選んだ3文字の名前を言い、小文字を書き取るよう伝える。 ・必要に応じて、繰り返し聞かせてもよい。 <p>【評価】*知（複数の小文字の名前を聞き取り、書くことができる）</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、コミュニケーションの図り方や言語に関することで気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。 ・挨拶をする。 	

Unit 5 Where is the post office? (pp.46-53)

指導計画 4 / 8 時間 (pp.49-50)

本時目標：(仮) 音声を聞き取り，友達と地図を使って道案内をできるようにする。

主な言語材料：Where is ~? Go straight for ~ block(s). Turn right/left at the ~corner. You can see it on your right/left side.など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー (PD)，巻末コミュニケーションカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 最近行ったお店の話から，地域にある建物や施設の話へ </div>	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い，本單元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。 	
展開 32分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) 音声を聞き取り，友達と地図を使って道案内をしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Let's try④】</p> <ul style="list-style-type: none"> 警察官とグリーン先生になりきって，ペアで道案内をする。 	<ul style="list-style-type: none"> AET, または児童とモデル会話を行う。 【Let's Listen ②】の地図記号から一つを選び，ペアで道案内を行うよう伝える。 【評価】◎知 (道案内をするときのやり取りで使用される語句や表現が身についている) 	
	<p>【Step 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> p.46-47 の町の地図の中からお気に入りの場所 (建物) を一つ選んで，ペアで道案内をする。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル映像を見せたり，AET とデモンストレーションを行ったりしながら，Step3 の活動内容を確認できるようにする。 p.46-47 の町の地図の中からお気に入りの場所 (建物) を一つ選ぶよう伝える。 紹介する人を決めて，巻末コミュニケーションカード (身近な人紹介カード) を切って，絵を描くよう伝える。 	<p>指導者用デジタルブック</p> <p>巻末コミュニケーションカード</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ペアで位置を伝え合うよう伝える。 <p>【評価】◎思(道案内する活動を通じて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている)</p>	
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】2回分</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、アクセントのある場所をぬりつぶす。 指導者が続けて言う3文字の名前を書き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 p.94の「アクセント⑥」の音声を聞いて、アクセントのある場所をぬりつぶすよう伝える。 必要に応じて、繰り返し聞かせてもよい。 <p>【評価】*知(単語のアクセントに慣れ親しんでいる)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が選んだ3文字の名前を言い、小文字を書き取るよう伝える。 必要に応じて、繰り返し聞かせてもよい。 <p>【評価】*知(複数の小文字の名前を聞き取り、書くことができる)</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時をふり返り、コミュニケーションの図り方や言語に関することで気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 児童が挙げた気づきに価値付けを行う。 挨拶をする。 	

Unit 5 Where is the post office? (pp.46-53)

指導計画 5 / 8 時間 (pp.50)

本時目標：(仮) オリジナルタウンにあったらいいと思う場所を考え、紹介し合うことができるようにする。

主な言語材料：This is ～. You can ～. It's ～ など

準備：指導者用デジタルブック、巻末コミュニケーションカード、オリジナルワークシート (WS)、
ふり返しカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域にある建物、施設の話から、その地域にあったらいいと思う建物や施設の話へ 	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 	
展開 30分	<p>【めあての確認】</p> <p>(仮) オリジナルタウンにあったらいいと思う場所を考え、紹介し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【オリジナルの活動に向けた準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 【Small Talk】でイメージをもった考えを生かして、巻末コミュニケーションカードの「町にあったらよい場所カード」にかく。 オリジナルタウンにあったらよい場所を考え、pp.46-47の紙面に置く。 A と B の2グループに分かれる。 	<ul style="list-style-type: none"> pp.46-47の町にあったらよい場所を考え、紙面の空いている場所にかくことを伝え、活動の見通しをもてるようにする。 【Small Talk】でイメージをもった考えを生かして、「町にあったらよい場所カード」にかくよう伝える。 本時の活動と次時の活動に向けて、クラスの児童を A と B の2グループに分ける。 (次時の道案内の活動では、A グループの児童は、B グループの児童が考えた建物・施設の中から目的地を選ぶため。) 	巻末コミュニケーションカード

	【オリジナルの活動 前半】		
<p>次時に道案内を行う。その際、自分の目的地とする建物・施設を選ぶための活動がこの活動のねらいである。各自が考えた建物・施設にたくさんの人の目的地としてもらえるよう、そのよさを宣伝する。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がかいた、町にあったらよい場所を発表する（宣伝する）。 ・自分のグループではない友達（自分がAグループであればBグループ）の発表を聞いて、行ってみたいと思った場所をワークシートに記入する。 <p>※次時の活動で、記入した場所（マイリスト）から、目的地を選び、案内を受ける。</p> <p>[会話モデル例]</p> <p>C: Hello. This is MUSCLE GYM. (場所の名前). You can do great exercise. It's fun! Enjoy! Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AET（または児童）とデモンストレーションを行う。 ・児童の実態をふまえて設定した、コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。 ・自分のグループではない友達の発表を聞き、行ってみたいと思った場所をワークシートに記入するよう伝える。（記入する数は、実態に応じて設定する） <p>【評価】◎<input checked="" type="checkbox"/>思（オリジナルの場所を紹介する活動を通じて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている）</p>	WS
	<p>【中間のふり返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。 	
	<p>【オリジナルの活動 後半】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返りを生かし、同様に活動を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返りを生かし、活動を続けるよう指示する。 	
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、始まりの音と同じ単語にチェックを入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・p.94の「始まりの音①」の音声を聞いて、birdの「b」と始まりの音と同じ単語にチェックを入れるよう伝える。 ・必要に応じて、繰り返し聞かせてもよい。 <p>【評価】*<input checked="" type="checkbox"/>知（単語の始まりの音に慣れ親しんでいる）</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードに記入する。 ・コミュニケーションの図り方に関する気づきや、言語に関することでの気づいたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 ・「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。 ・児童が発表した気づきに価値付けする。 ・挨拶をする。 	ふり返りカード

Unit 5 Where is the post office? (pp.46-53)

指導計画 6 / 8 時間 (pp.51)

本時目標：(仮) 教室をオリジナルタウンに見立てて、道案内をできるようにする。

主な言語材料：Where is ~? Go straight for ~ block(s). Turn right/left at the ~corner. You can see it on your right/left side.など

準備：巻末コミュニケーションカード、オリジナルワークシート (WS)、ふり返しカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域にある建物、施設の話から、その地域にあったらいいなと思う建物や施設の話へ 	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 	
展開 35分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) 教室をオリジナルタウンに見立てて、道案内をしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Step 3 をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> デモンストレーションを通して、モデルとなるコミュニケーションの図り方と活動の見通しをもつ。 A・B グループから一人ずつ出してペアを組む。 A は前時に作成した「マイリスト」を基に行きたい場所を B にたずねる。B は、A の依頼に応じて道案内を行う。 目的地に案内を終えたら、正しく案内できていたかどうかを確かめるため、裏面に置かれている場所のカードをめくり、答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ※2種類のオリジナルタウン(地図)を設けて行う。A グループが設定したオリジナルの場所の位置は、A グループしか把握できないようにする。そのため B グループは、前時に作成した「マイリスト」を基に行きたい場所を、もう A のグループに尋ね、道案内を受ける必要性を生じさせる。(インフォメーションギャップ) ※教室を町に例える際、場所カードを裏面に置くようにする。表面にすると、案内を受ける側も把握でき、道案内を受ける必要性がなくなるからである。どこに何のカードが伏せられている 	WS

<ul style="list-style-type: none"> ・全員がその役を体験したら、役を入れ替え、同様に活動を行う。 ・「町にあったらよい場所カード」を p.63 に貼る。 ・道案内をするペアの「マイリスト」の単語と内容を確認する。 <p>【会話モデル例】</p> <p>A: Excuse me? B: Yes? A: Where is the MUSCLE GYM? B: Pardon? A: Where is the MUSCLE GYM? B: I see. Go straight for three blocks. It's on your left. A: Thanks. Where is the HINA AREANA? B: Go straight for two blocks. It's on your right. A: Oh, thank you. B: You're welcome. Enjoy!</p>	<p>かは、案内するグループの手元にある地図にしか記載されていないようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が事前に作成した2種類のマップを用意する。 ・AET（または、児童）とデモンストレーションを行う。 ・児童の実態をふまえて設定した、コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。 ・A・Bグループから一人ずつ出してペアを組むよう指示する。 ・教室の前に児童を集め、順番にペアで道案内を行うよう伝える。 ・役割を交代したり、ペアを替えたりしながら、同様の活動を繰り返し行うよう指示する。 ・困り感のある児童に対し、個別に支援する。 ・「町にあったらよい場所カード」を p.63 に貼る。 <p>【評価】</p> <p>◎<input checked="" type="checkbox"/> 思（道案内する活動を通じて、相手の要望に応じながら、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている）</p> <p>○<input type="checkbox"/> 主（道案内する活動を通じて、相手の要望に応じながら、他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている）</p>	
<p>【中間のふり返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。 	
<p>【Step 3 をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返りを生かし、同様に活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返りを生かし、活動を続けるよう指示する。 	

	を続ける。		
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返しカードに記入する。 ・コミュニケーションの図り方に関する気付きや、言語に関する事で気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返し、児童のよかったところをほめる。 ・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・挨拶をする。 	ふり返しカード

Unit 5 Where is the post office? (pp.46-53)

指導計画 7 / 8 時間 (pp.52-53)

本時目標：(仮)世界の地図や標識について考え、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料：Where is ~? It's by/in/on/under ~. We have ~in our town. I live in~.など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー (PD)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> pp.52-53 を見て、どのような場面があるか指導者とのやり取りを通して、英語を聞いたり話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> pp.52-53 を見て、どのような場面が示されているか、慣れ親しんできた語彙や表現を用いて確認する。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 	
展開 30分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮)世界の地図や標識について考え、世界と日本についての理解を深めよう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Let's sing】</p> <p>Excuse me.</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲を聞き、歌えるところを歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 実態に応じて、カラオケ機能などを使いながら歌うようにする。 	指導者用デジタルブック
	<p>【Do you know?】</p> <ul style="list-style-type: none"> 記号や標識の意味について考え、発表する。 ピクトグラムの役割について考える。 クイズの答えを予想して、空欄に記入する。 答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> イギリス (p52 左上), ロシア (p52 右上), オーストラリア (p53 中央), 中国 (p53 右上) の標識, あるいは北海道の旭山動物園の外国人向けの地図 (p52 中央) を通して, 軌道や標識の意味について考えるよう指導する。 ピクトグラムの役割について尋ねる。 クイズの答えを予想し, 空欄に記入するよう伝える。 考えを引き出し, 答え合わせをする。 <p>【評価】 ○<input checked="" type="checkbox"/> (世界の地図や標識について主体的に知ろうとし, 世界と日本についての理解を深めようとしている。)</p>	

	<p>【ことば探検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの元になった絵文字を予想して，線でつなぐ。 ・答え合わせをする。 ・気付いたことをメモ欄に記入し，発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの元になった絵文字から，どのアルファベットになったかを予想させ，線でつなぐよう伝える。 ・答え合わせをする。 ・考えたことをメモ欄に書くよう伝える。 ・気付いたことを尋ねる。 ・アルファベットの成り立ちや，象形文字について説明する。 	
	<p>【日本のすてき】 David Bull さん（デイビッド・ブル）さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bull さんについての映像や音声を視聴し，おおよその内容を理解する。 ・空欄に答えを記入する。 ・答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず全体を1回流し，その映像や音声を通じて，David Bull さんがどんな仕事をしているかを聞き，答えを空欄に日本語で記述するよう伝える。 ・Bull さんの仕事が木版画職人であることを確認する。（スクリプト上では I make mokuhanga. となっている） ・もう一度視聴させ，分かったことを記入するよう伝える。以下のようなヒントを与えてもよい。児童が理解していない様なら，複数回聞かせる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 出身地（カナダ） 2) 今住んでいるところ（浅草） 3) 木版画で作ったもの？（桃太郎） <p>【評価】 <input checked="" type="checkbox"/>○（世界と日本の文化についての理解を深めようとしている。）</p>	指導者用デジタルブック
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が続けて言う3文字の名前を書きとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・指導者が続けて言う3文字の名前を言い，小文字を書きとるよう伝える。 ・児童の学習到達度により，言うスピードを調整する。 <p>【評価】 *<input checked="" type="checkbox"/>（複数の小文字の名前を聞き取り，書くことができる）</p>	指導者用デジタルブック 指導者用絵カード
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返しカードに記入する。 ・文化や風習に関する気付きや，言語に関する気付きを発表する。 ・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返る。 ・児童が挙げた気付きに価値付けする。 ・児童の発表や気付きをまとめたり，日本の文化との同異を整理したりする。 ・挨拶をする。 <p>※次時の活動に向けた「他国の標識やピクトグラム調べ学習」を宿題として出す。または，調べる時間を確保する。</p>	ふり返しカード

Unit 5 Where is the post office? (pp.46-53)

指導計画 8 / 8 時間 (pp.52-53)

本時目標：(仮)世界の地図や標識について考え、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料：Do you know ~? This sign (pictogram) is for ~. It's ~. など

準備：ワークシート (WS)、ふり返しカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 3分	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。	
展開 32分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮)世界の地図や標識について考え、世界と日本についての理解を深めよう。</p> </div> <p>・本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</p>	<p>・本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</p>	
	<p>【Challenge をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べた他国の標識やピクトグラムについて発表する。 ・答えを予想し、発表する。 ・答え合わせを行う。 ・活動を通して、他国と日本との比較を通し、類似点・相違点等、気付いたことや分かったことを記入する。 <p>[会話モデル例 ; スピーチ]</p> <p>A: Hello. Do you know this sign (pictogram)? This sign (pictogram) is for hospital in Philippine. This sign (pictogram) is for hotel in Japan. It's interesting! Thank you.</p> <p>[会話モデル例 ; クイズ - 国名]</p> <p>A: Hello. Do you know this sign (pictogram)? This sign (pictogram) is for hospital. It's interesting! What country? (予想を尋ね、答えを発表する)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションでは、AET または IUI の国の標識やピクトグラムを紹介する。 ・活動のねらいによっては、クイズ形式にしてもよい。 ・調べてきた他国の標識やピクトグラムの共有を通して、自分たちの国や地域の行事や祝日比較しながら、アイデンティティの育成や高まりにつなげる。 ・興味をもった文化・風習等と出会う機会をつくる。 ・困り感のある児童に対し、個別に支援する。 ・児童がまとめた資料は、実態に応じて廊下や学校図書館等に掲示してもよい。 <p>※クイズの対象は、標識等の意味でも、どこの国のものかでもよい。実態に応じて使い分ける。</p> <p>【評価】○<input type="checkbox"/>主 (活動を通じて、自分の関心ごとの探求に向かって主体的に聞いたり、質問したりしている)</p>	

	<p>It's in Philippine. Thank you.</p> <p>[会話モデル例 ; クイズ - 標識等の意味]</p> <p>A: Hello. Do you know this sign (pictogram)? It's in Philippine. What is this sign for? (予想を尋ね, 答えを発表する) This sign (pictogram) is for hospital. It's interesting! Thank you.</p>		
	<p>【中間のふり返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや, ふり返る際の視点に沿って, 活動をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや, ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返し, めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ, ほめる。 	
	<p>【Step 3 をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし, 同様に活動を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし, 活動を続けるよう指示する。 	
<p>文字 指導 5分</p>	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて, 始まりの音と同じ単語にチェックを入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・p.94の「始まりの音②」の音声を聞いて, houseの「h」と始まりの音と同じ単語にチェックを入れるよう伝える。 ・必要に応じて, 繰り返し聞かせてもよい。 <p>【評価】*知(単語の始まりの音に慣れ親しんでいる)</p>	<p>指導者用デジタルブック</p>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返しカードに記入する。 ・文化や風習に関する気付きや, 言語に関する気付きを発表する。 ・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発表や気付きをまとめたり, 日本の文化との同異を整理したりする。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・ふり返しにおいて, もっと深く知りたいことが出た場合は, それを拾い上げ, 次回の Over the Horizon に関連付けるようにする。 ・挨拶をする。 	<p>ふり返しカード</p>